

**新型コロナと戦い、市民の命とくらしを守り抜く  
～さいたま市緊急対策第16弾～**

**令和3年12月23日（木）**

**市長定例記者会見**

**本市の新型コロナウイルス感染症の状況について  
～今後の新型コロナウイルスワクチン接種事業～**

**令和3年12月23日（木）  
市長定例記者会見**

# 本市の新型コロナウイルス感染状況

12/21現在	陽性者数	感染経路不明者
累計	20,015人	9,988人 (49.9%)
陽性率	0.4%	

週計	先々週 12/5~12/11	先週 12/12~12/18	増減
新規陽性者数	7人	8人	+1人
陽性率	0.6%	0.7%	+0.1%

- ※ 陽性者数は、市外の検査で陽性が判明するなどした22名を含む。
- ※ 感染経路不明者は、調査中を含む。
- ※ 陽性率は、直近1週間の移動平均。

※数値等は速報値として公表するもので、後日変更になる場合があります。

# 本市の新型コロナウイルス感染状況

## 陽性者数の推移（1週間ごと）

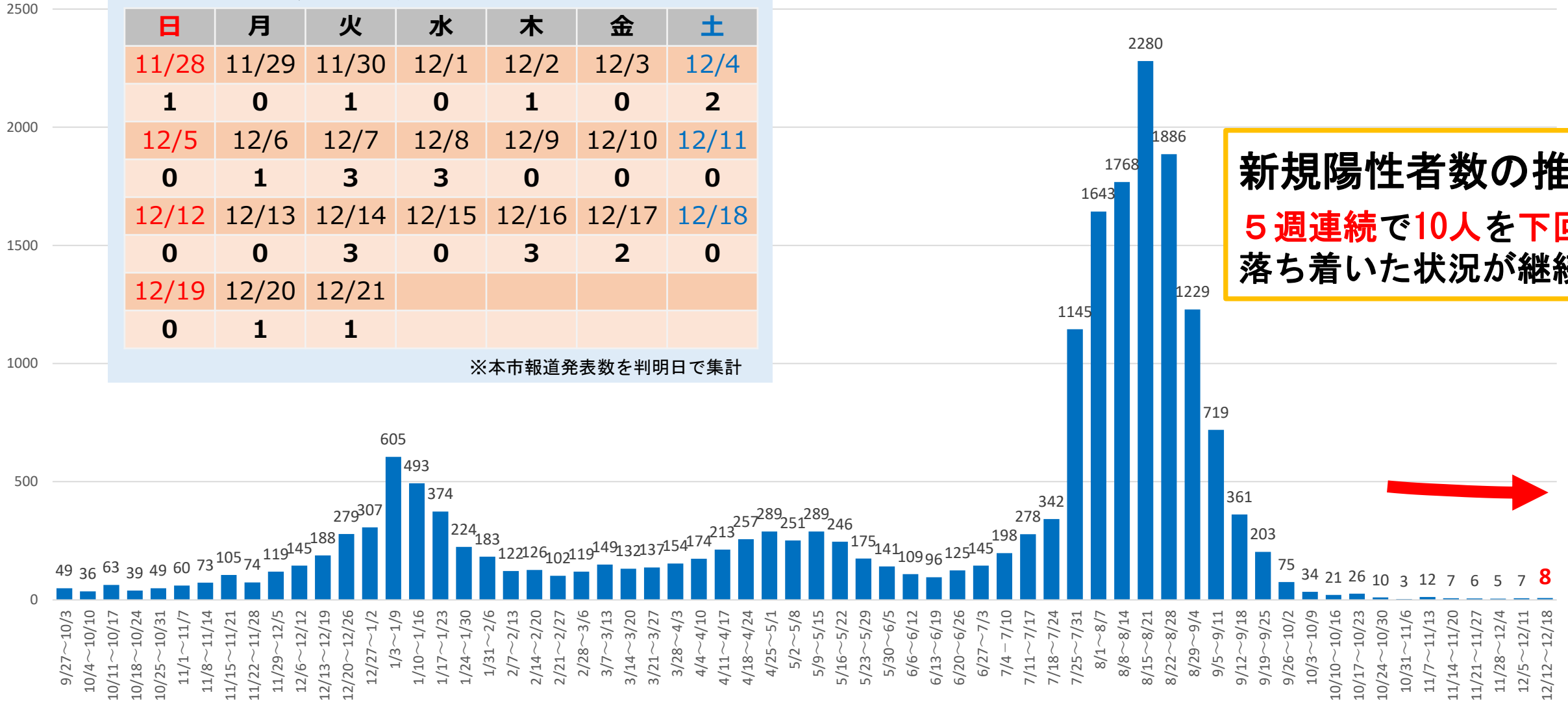
■ 週計

▶直近3週間の新規陽性者数（日別）

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4
1	0	1	0	1	0	2
12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11
0	1	3	3	0	0	0
12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18
0	0	3	0	3	2	0
12/19	12/20	12/21				
0	1	1				

※本市報道発表数を判明日で集計

**新規陽性者数の推移**  
**5週連続で10人を下回る**  
**落ち着いた状況が継続**



※数値等は速報値として公表するもので、後日変更になる場合があります。

# 市内居住者の感染傾向

## ▶市内居住者の療養状況（直近1週間比較）

	市民 合計	療養者 合計	入院中			宿泊 療養	自宅療養	退院・ 療養終了	死亡
			重症	軽症・ 中等症					
12月14日	22,230	2	1	0	1	0	22,068	160	
12月21日	22,240	8	5	0	5	2	22,072	160	
増減	10	6	4	0	4	1	4	0	

■療養者数（「入院」「宿泊」「自宅」の合計）

2人(12/14) ⇒ **8人**(12/21)

## 保健・医療提供体制の検討

### ■検討の経緯等

災害級といわれた第5波の感染状況を踏まえ、今後、懸念される感染の再拡大に備えた保健・医療提供体制を整備する

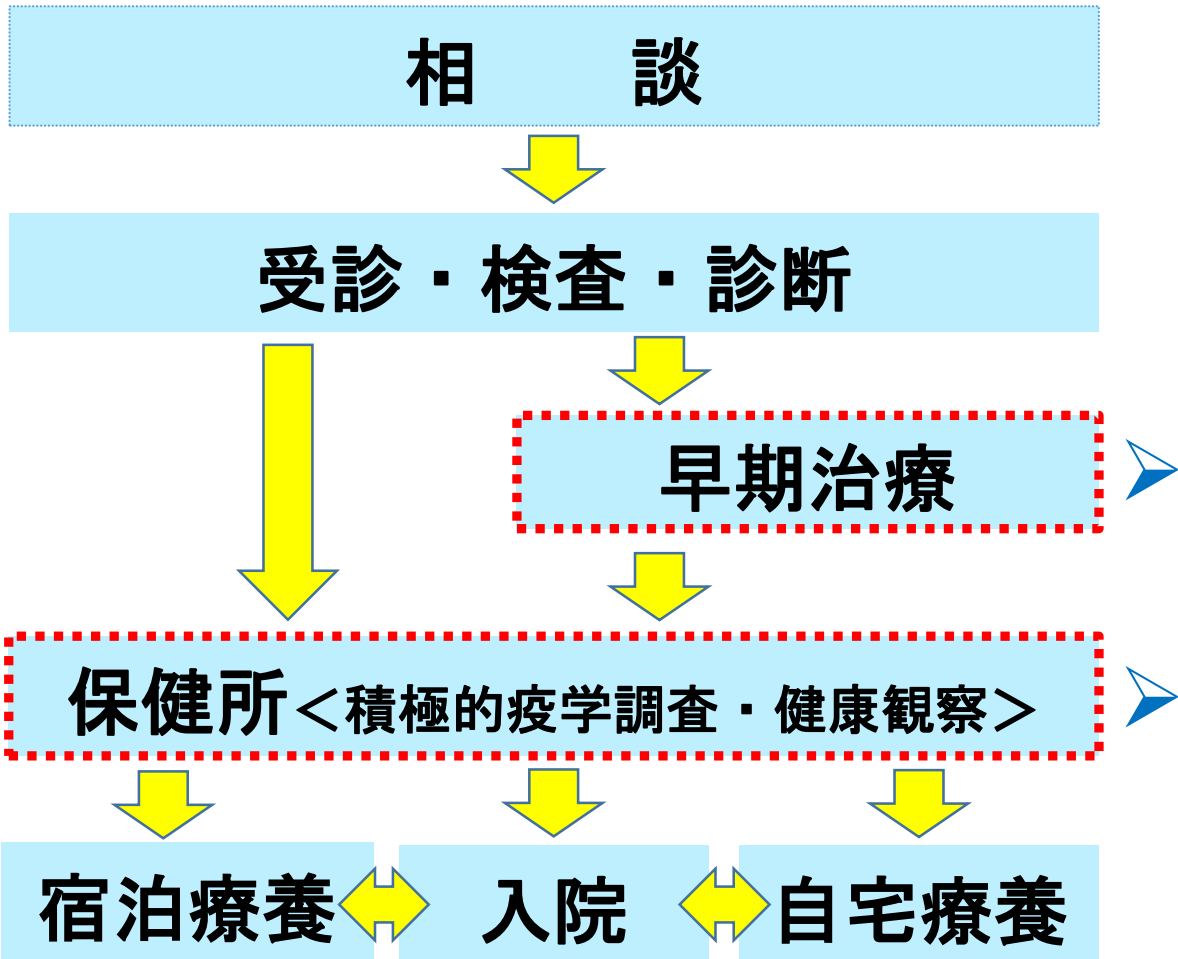


※医師会・医療機関との意見交換会(オンライン開催)の様子

- 9月下旬～【随時】保健部・保健所の連絡会を開催
  - 9月下旬 疫学調査・健康観察に従事する職員へのアンケート実施
  - 10月中旬～【随時】保健所全体会議を開催
  - 10月下旬 医師会、医療機関との意見交換会(第6波に向けた保健医療提供体制)
  - 12月上旬 市保健・医療提供体制に係る整備方針の決定
- (参考) 定例開催～ ワクチン接種の実施に向けた医師会との連絡会(※原則毎週)

# 保健・医療提供体制の検討状況

## ■市が早急に取り組むべき課題



## 市が早急に取り組むべき課題

- ①重症化予防のための早期治療に係る患者移送体制の構築
- ②感染拡大の兆候をとらえた保健所体制の強化

# 次の感染拡大に備えた保健・医療提供体制

## ■①重症化予防のための早期治療に係る患者移送体制の構築

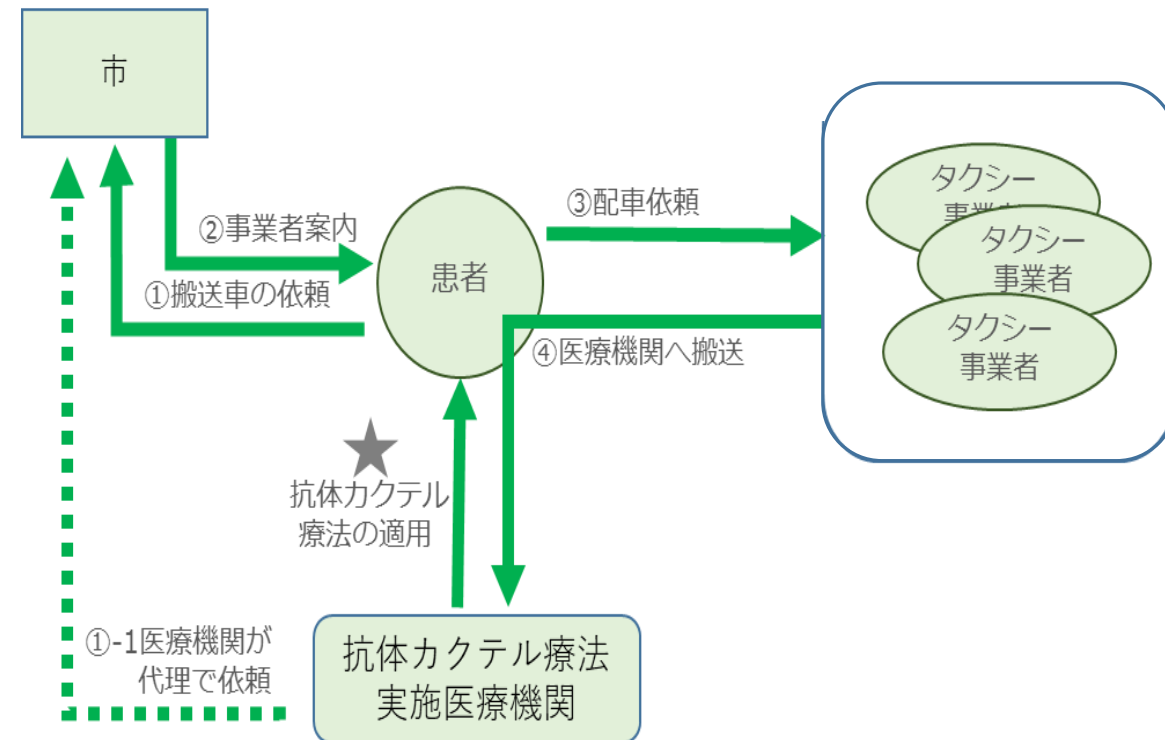
### ➤ 抗体カクテル療法を要する患者等の医療機関への移動支援（新規施策）

#### ①目的

新型コロナウイルス感染症患者等を適切に感染症予防措置を講じたタクシーで、市が指定した場所へ移送する。これにより、重症化リスクのある患者等を早期治療に繋ぎ、患者等の重症化を防ぐ。

#### ②業務内容

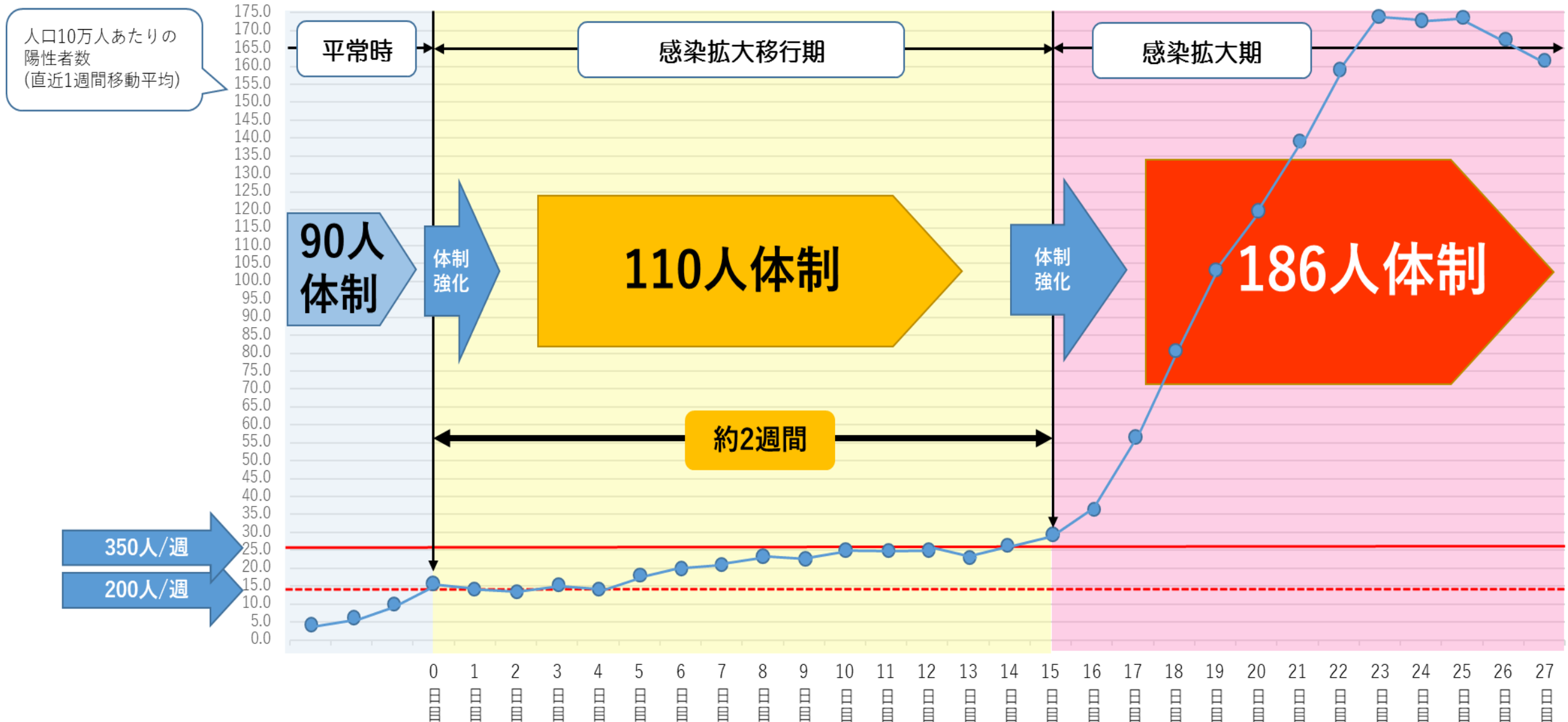
- ・抗体カクテル療法等の治療を受ける患者等の移送
- ・その他、患者等を市が指定した場所への移送





# 次の感染拡大に備えた保健・医療提供体制

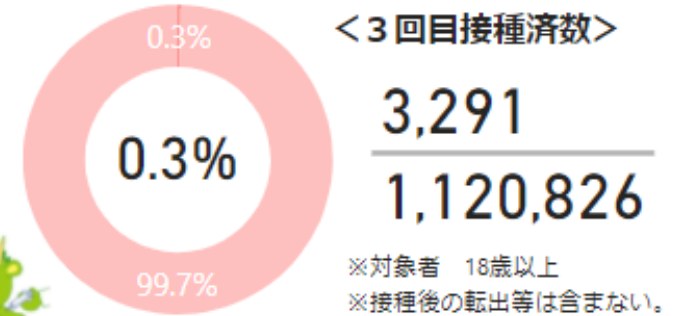
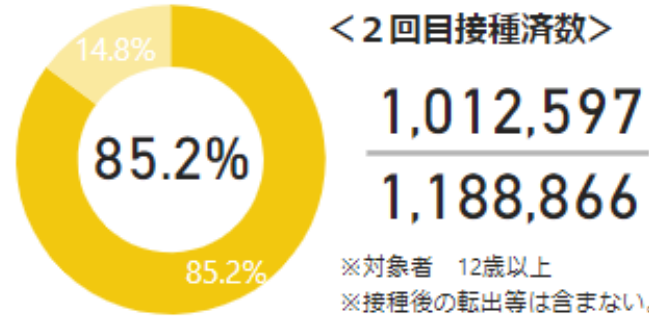
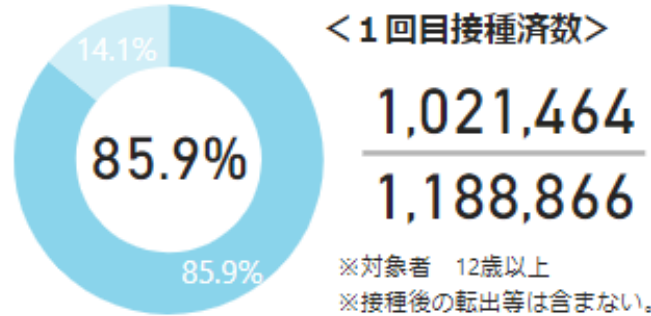
## ■②感染拡大の兆候をとらえた保健所体制の強化



# 新型コロナウイルスワクチン接種事業

## 本市のワクチン接種の状況

【12/23 時点】



行政区	1回目接種の割合
西区	86.2%
北区	86.1%
大宮区	85.5%
見沼区	85.5%
中央区	87.4%
桜区	85.9%
浦和区	86.6%
南区	86.0%
緑区	84.8%
岩槻区	85.2%

行政区	2回目接種の割合
西区	85.3%
北区	85.6%
大宮区	85.0%
見沼区	84.8%
中央区	86.7%
桜区	85.0%
浦和区	86.0%
南区	85.2%
緑区	83.6%
岩槻区	84.4%

行政区	3回目接種の割合
西区	0.3%
北区	0.2%
大宮区	0.3%
見沼区	0.2%
中央区	0.5%
桜区	0.5%
浦和区	0.3%
南区	0.2%
緑区	0.2%
岩槻区	0.4%

年齢区分	1回目接種の割合
80歳以上	91.0%
70代	92.5%
60代	91.0%
50代	87.5%
40代	85.3%
30代	81.7%
20代	79.9%
19歳以下	77.8%
合計	85.9%

年齢区分	2回目接種の割合
80歳以上	91.0%
70代	92.6%
60代	90.4%
50代	86.9%
40代	84.4%
30代	80.5%
20代	78.5%
19歳以下	76.4%
合計	85.2%

年齢区分	3回目接種の割合
80歳以上	0.0%
70代	0.1%
60代	0.3%
50代	0.4%
40代	0.4%
30代	0.4%
20代	0.4%
19歳以下	0.0%
合計	0.3%

※転出入等の状況により、2回目接種済が1回目接種済よりも多く表示される場合がある。

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業

## ■ 3回目接種時期の見直し

対象者		接種間隔	接種会場
医療従事者	自院接種できる場合	6か月以上	各医療機関
	自院接種できない場合	6か月以上	さいたまスーパーアリーナなど一部の集団接種会場
高齢者施設等の入所者・従事者		6か月以上	各施設
上記以外の高齢者（65歳以上）		7か月以上	・ 個別接種会場（医療機関） ・ 集団接種会場

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業

## 3回目接種時期の前倒しによるスケジュールの変更

当初のスケジュールに、接種間隔が8か月から7か月となる高齢者（65歳以上）の人数の変動を反映した場合

3回目接種時期	8か月
12月	約1.1万人
1月	約2.4万人
2月	約6.8万人
3月	約22.7万人
合計	約32.8万人



7か月
約1.1万人
約2.4万人
約23.3万人
約10.6万人
約37.3万人

⇒前倒しに必要なワクチン量は、3回目接種分ワクチンと  
1回目・2回目の残ワクチンで確保できる見込み

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業

## ■ 3回目接種の接種用クーポン券発送時期

●各接種対象者に対応できる接種スケジュールに変更 ▶ 6か月が経過したら届くように発送

### 【 6か月以上対象者 】

- 接種時期到来後に送付し、誤接種を防止
- 接種券がなくても接種可能

### 【 7か月以上対象者 】

- 接種券が届いたらすぐ予約が可能

### 【 8か月以上対象者 】

- 今後の前倒しを見据えて、予約時期より早く送付

接種用クーポン券 発送時期	2回目接種完了時期	3回目接種時期 (7か月前倒しの場合)	発送件数
12月24日(金)	6月1日～6月13日	2月1日	10,858件
1月11日(火)	6月14日～6月30日	2月1日	約7.6万件
1月18日(火)	7月1日～7月7日	2月1日～2月7日	約3.7万件
1月25日(火)	7月8日～7月14日	2月8日～2月14日	約4.4万件

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業

## ■ 本市で接種記録を確認できない転入者への対応

- ▶ VRSを通じて他市での接種記録を照会
- ▶ 照会結果に応じて接種用クーポン券等を発送



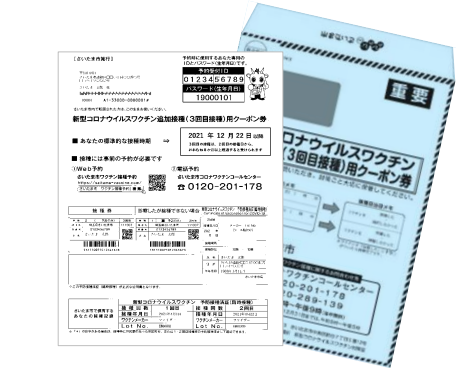
※本市に接種記録のない  
市外からの転入者

VRSを通じて、転入前の  
自治体の接種記録を照会



接種記録を  
確認できる

2回目の接種から  
6か月以上経過



接種用クーポン券

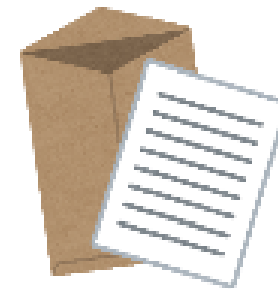
2回目の接種から  
6か月以上経過し  
ていない

6か月  
経過



接種時期案内はがき

接種記録を  
確認できない



追加接種用クーポン券  
発行申請書

# さいたま市緊急対策 第16弾

# 新型コロナウイルスの感染拡大への基本的な考え方

## 基本的な考え方

市民の命や生活を守ることを最優先に、国や県の財政的支援措置の最大限の活用と、国の支援策のすき間を埋める市独自の支援策をスピード感をもって展開し、長期的かつ安定的な感染拡大防止策や医療提供体制の整備と市民生活や経済活動に及ぼす影響の最小限化、活力の回復に取り組む。

## 重点的な取組

- ① 感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備とワクチン接種の円滑な実施
- ② ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応したDXの推進と投資の促進
- ③ 感染拡大防止と新たな生活スタイルへの対応
- ④ 市民生活の下支えや事業継続・雇用維持のための事業者支援、経済活動の回復に向けた消費喚起策



## ① 感染の再拡大に対応可能な検査・医療体制の整備とワクチン接種の円滑な実施

### 取組1 感染症予防事業

- ・抗体カクテル療法を必要とする感染症患者等に対して医療機関への移動支援をするもの

市独自

31,375千円

## ② ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応したDXの推進と投資の促進

### 取組2 情報システム最適化事業・住民戸籍基本台帳事務事業

- ・マイナポイントに関する手続等を継続的に支援するとともに、マイナンバーカードの申請に必要な顔写真の撮影を行うなど申請サポートを実施するもの
- ・マイナンバーカードの新規交付増を想定し、窓口を増やすなどマイナンバーカード交付体制を強化するもの

国施策

82,527千円

## ④市民生活の下支えや事業継続・雇用維持のための事業者支援、経済活動の回復に向けた消費喚起策

### 取組3 子育て世帯への特別給付金給付事業

- ・子育て世帯に対し、対象児童1人につき10万円を支給するもの

国施策

17,968,561千円

### 取組4 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業

- ・住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円を支給するもの

国施策

14,846,575千円

### 取組5 観光推進対策事業

- ・地域経済の活性化を図るため、宿泊促進キャンペーンを実施するもの

市独自(2回目)

165,053千円

さいたま市緊急対策第16弾

約330億9千万円

コロナ対策予算 総額

令和2年度 約1,884億2千万円  
(決算額 約1,631億5千万円)

令和3年度 約817億5千万円  
(第16弾を含む)

累計 約2,701億7千万円

# 市民の皆様へのお願い

穏やかな年末年始を過ごすために基本的な感染予防策の徹底をお願いします。



- ・外出は混雑する場所・時間を避けて
- ・体調がすぐれないと感じたら、外出は控えて
- ・第3者認証やガイドライン等のルールを守っている店舗の利用
- ・寒くても、こまめな換気を